

次週からの礼拝について

2021年10月31日

奈良基督教会

新型コロナウイルスの新規感染者数および現在感染者数が落ち着いてきましたので、次週以降の礼拝について、次のように戻していきます。

1、聖歌プリントについて

現在は毎週聖歌のプリントを印刷していますが、以前のように各自聖歌集を用いる形に戻します。

それに伴い、現在毎週置いている移動式の受付机は、今後は使用しないこととします。

2、パンとぶどう酒について

現在はオルターがあらかじめチャンセル内のクリーデンステーブルに置いていますが、以前のように準備の段階でオルターが礼拝堂後方に置くようにします。

奉献のときにアッシャーが前に持っていく形に戻します。(前には二名で行く)

その際に、陪餐者の数をメモしてサーバーに渡します。

3、献金袋について

現在は礼拝開始時に礼拝堂後方に置いてありますが、チャンセル内に置く形に戻します。奉献のときに前に来た二名のアッシャーが受け取り、会衆席に回します。

奉献唱の最終節が始まったら、アッシャーが前に進み、サーバーに献金袋を渡します。奉献のお祈りが終わるまで、前にいます。

4、聖書朗読について

現在は会衆席の前の方に座り、聖書朗読のときだけチャンセルに上がっていますが、礼拝開始時は一緒に入堂し、奉仕者席に座る形に戻します。

聖書朗読が終わると、会衆席に戻ります。

上記のことや陪餐の仕方など、その日の司祭や信徒奉事者の人数によって柔軟に対応していきたいと思えます。特に典礼グループ、教会委員の方々は、積極的なご協力をお願いいたします。

※奈良県の現在感染者数が50名を切ったら・・・

- ・詩編を用います。
- ・福音書朗読を会衆席の真ん中でおこないます。(移動するのは朗読者のみ)
- ・代祷項目をすべて読み上げます。